

## 2019年度 シラバス

教科	国語	科目	国語総合(現代文分野)	学年	1
				コース	S
	使用教科書		『高等学校 国語総合』数研出版	履修単位数	2
学習目標	物事を抽象化して捉える力、常識を相対化する力を鍛えることにより、自分の生き方や社会のあり方についてより深く考えられるようにする。また、言葉の構造・文章の構造を理解しながら、論理的に思考する力・表現する力を身につける。			評価の観点	定期試験を軸に、授業での文章記述、S統一テスト、授業態度などを元に総合的に判断する。
<b>授 業 計 画</b>					
月	単元・教材	学 習 内 容			
4	1. 「わたしであり、あなたでなくちゃ」	1 ・平易な表現を抽象的語彙に言い換えながら普遍化して理解する。 ・誰もが直面する「自分らしさ」の問題について考える。 ・「ひとりきり」の重要性を理解する。			
5	2. 「羅生門」	2 ・小説作品の基本的な読み方を理解する。 ・小説作品を構造体として捉え、その仕組みを理解する。 ・主人公の変化を軸に、心理や象徴的表現を読み解く。			
《第1回定期試験》					
6	1. 問題演習	1 ・現代文問題の解法を理解する。			
7	2. 読書プレゼンテーション	2 ・自ら選んだ本について、プレゼンシートを使いながら発表する。 ・内容をまとめる力、プレゼン能力を伸ばす。			
9	3. 「『差』という情報」 4. 「ネットが崩す公私の境」	3 ・筆者が述べる「『差』という情報」とはどのようなものを理解する。 ・身近な経験から出発して普遍化する文章法を理解する。 4 ・メディアの変化に伴う社会的な変化を捉える。 ・インターネットの出現によって成り立つ現況を正しく理解する。			
《第2回定期試験》					
9	1. 「『わらしべ長者』の経済学」	1 ・筆者が考える「わらしべ長者」の意味を的確に捉える。 ・「ブータンの話」の意味について考えることで、資本主義社会を相対化する。			
10	2. 問題演習 3. 「コインは円形か」	2 ・現代文問題の解法を理解する。 3 ・人間の認識が一面的になりがちであることを理解する。 ・「レトリック感覚」の必要性を、現代の状況とともに理解する。			
《第3回定期試験》					
12	1. 問題演習	1 ・現代文問題の解法を理解する。			
1	2. 「宇宙から学ぶ」	2 ・本文の構造を理解するとともに、内容を的確にまとめる。 ・生命の存続に「多様性」が必要であることを理解する。			
2	3. 「時間と自由の関係について」	3 ・近代化の本質を理解しながら、「時間」という常識を相対化する。 ・人間が生きていくことの意味について考える。			
《第4回定期試験》					
3	4. 読書プレゼンテーション	4 ・自ら選んだ本について、プレゼンシートを使いながら発表する。 ・内容をまとめる力、プレゼン能力を伸ばす。			
副教材	『現代文キーワード読解』Z会 『入試漢字＋現代文重要語 TOP 2500』 いっぴな書店口 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>				

## 2019年度 シラバス

教科	国語	科目	国語総合(古典分野)	学年	1
				コース	S
使用教科書			『高等学校 国語総合』数研出版	履修単位数	3
学習目標	古典作品を理解する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、日本文化に対する関心を深め、生涯にわたって古典に親しむ態度を育む。			評価の観点	定期試験を軸に、小テスト、提出物の成果、授業への意欲や関心、授業態度などを総合的に評価する。
授 業 計 画					
月	単元・教材	学 習 内 容			
4	『宇治拾遺物語』 「児のそら寝」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古文の特徴(古文と現代文の違い)を把握する。</li> <li>歴史的仮名遣い、古語、品詞の種類、活用と活用形</li> <li>・用言の活用を理解する。</li> <li>動詞、形容詞、形容動詞の活用</li> <li>・読解のための基本事項をおさえることで、文章内容をつかむ方法を学ぶ。</li> <li>・古典を読む楽しさを感じる。</li> </ul>			
5	「検非違使忠明」				
『第1回定期試験』					
6	『竹取物語』 「なよ竹のかぐや姫」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・竹取の翁の心情をおさえながら物語世界を楽しむ。</li> <li>・当時の習慣や伝統について理解する。</li> <li>・過去・完了・推量の助動詞について理解する。</li> <li>・内容理解とともに古文のリズムにしたしみ暗唱できるようにする。</li> <li>・返り点と送りがないに従って漢文を読み、訓点を施すことができる。</li> <li>・書き下し文のきまりを学ぶ。</li> <li>・再読文字や助字・置き字の働き、基本的な漢文の構造について理解する。</li> </ul>			
7	『徒然草』 「つれづれなるままに」 「ある人、弓射ることを習ふに」				
9	『漢文入門一』 『漢文入門二』				
『第2回定期試験』					
9	『伊勢物語』 「芥川」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「歌物語」の特徴を理解する。</li> <li>・この作品が持つ「みやび」の世界に対する理解を深める。</li> <li>・和歌の修辞法について理解する。</li> <li>・主な助動詞や助詞について学ぶ。</li> <li>・否定・使役・疑問の句法について理解し、故事成語の成り立ちやおもしろさを知る。</li> </ul>			
10	「東下り」				
11	『故事』 「矛盾」「狐借虎威」				
『第3回定期試験』					
12	『土佐日記』 「門出」「帰京」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性による仮名書きの文学形態をとり、後の日記文学に多大な影響を及ぼした事を理解する。</li> <li>・作者の見方・感じ方をとらえながら、亡児への追慕の感情を鑑賞する。</li> <li>・「軍記物語」の特徴を理解する。</li> <li>・現代と比較し、中世の「無常観」、武士の生き方について理解を深める。</li> <li>・敬語法、音便について理解する。</li> <li>・春秋戦国の時代背景を学習し漢文学習に必要な知識を養い、比較・選択・抑揚の句法を学ぶ。</li> <li>・絶句と律詩のきまりを理解し、作者の深い感情を味わい、詩の響きを味わう。</li> <li>・和歌の修辞法を学び、様々な歌のリズムを体感する。</li> <li>・時代による歌風の変化を知り、それぞれの歌の主題を考える。</li> </ul>			
1	『平家物語』 「祇園精舎」 「木曾の最期」				
2	『史伝』「鶏口牛後」 『唐詩』「絶句」「律詩」				
『第4回定期試験』					
3	『和歌』「万葉集」「古今和歌集」 「新古今和歌集」				
副教材	『みるみる覚える古文単語300＋敬語30』いっずな書店      『完全マスター古典文法』第一学習社 『基本セミナー漢文入門』 浜島書店 『新訂総合国語便覧』 第一学習者				